平成26年度病害虫発生予報第8号（11月予報）

＜今月のコラム＞　・冬春期野菜の定植時および生育初期の病害虫防除対策
・沖縄地方の温暖化の現状

＜お知らせ＞　イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/ineyo-phero.html

今月のトピックス

疫病　（きく）

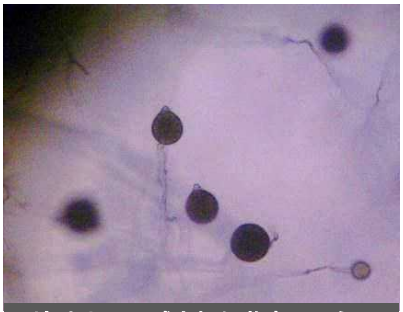
学名：*Phytophthora cactorum*
Phytophthora chrysanthemi


坪枯状に発生した圃場


症状2：茎先端の発病


症状1：地際部から茎や葉が黒変腐敗


検鏡により確認される遊走子のう
（*P. cactorum*）


培地上に形成された遊走子のう
（*P. cactorum*）


培地上に形成されたHyphal swellings
（*P. chrysanthemi*）

生態と被害

初め地際部の茎に発病が見られる。茎は黒変腐敗し、次第に上部に進展する。また、遊走子のうから放出された遊走子が降雨や灌水により土とともに跳ね上がり、茎途中や茎先端に達し、発病する。

病原菌は2種あり、*P. cactorum* はキクの他チューリップやユリ類、ビワ、いちご等に寄生性がある。*P. chrysanthemi* の寄主範囲は現在のところキクのみが判明している。*P. cactorum* の遊走子のうは広楕円形～卵形で、大きさは35×23μmである。また、*P. chrysanthemi* は菌糸が膨潤したHyphal swellingsを豊富に形成する特徴がある。菌は土壌中や被害植物残渣中で卵胞子や厚膜胞子などの形態で生存すると考えられる。

防除法として、ほ場の排水を良好にする、太陽熱土壌消毒、罹病植物の早期除去等が有効である。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成26年10月31日
沖縄県病害虫防除技術センター